

複合公共施設の 見直しは



Q 市民事業仕分けの結果を受けて見直した内容および削減額は。

A 延床面積は6574㎡から5260㎡と2割削減し、テナント入居分として610㎡が加わり、5870㎡としています。観光情報発信施設、子育て世代支援施設、公民館機能の一部、倉庫、共用部などを削減し、約3億円から4億円程度削減の見込みです。

Q 見直した内容を市民にどのように説明するのか。また、見直した内容について、市民の意見を伺うことはしないのか。

A 総合評価一般競争入札の公告内容やウェブサイトに掲載するため、どんなでも内容を確認でき、開館までのスケジュールもお知らせします。市民の意見を踏まえ、建設や維持管理コストを削減しました。

Q 施設整備のために、これからかかる予算額および期間は。

A 令和2年度から19年度までの18年間で債務負担行為の金額は、施設整備費と15年間の維持管理・運営費を合わせ約65億7700万円です。

Q 65億7千万円もの多額の費用を投じて、複合公共施設整備を行うべきか、市民の判断を仰ぐべきと思うが、市の考えは。

A 基本計画や基本設計で、市民の意見を踏まえ進めてきました。市民事業仕分けの意見により、施設整備や維持管理のコスト削減を進めました。

橘ふれあい公園の整備運営は

Q パークゴルフ場の整備費は市が負担し、運営は民間の指定管理者が独立採算方式で行うのか。

A そのとおりです。

神生再生土処分場へ 有害物質搬入の 可能性は



Q 神生再生土処分場へ、産業廃棄物処分の許可を取り消された会社から再生土が搬入された。品質的に健康に有害な物が搬入された可能性もあるのでは。

A 県が定期的に産業廃棄物中間処理施設へ立入検査を実施し、帳簿や分析表の確認、サンプルを採取して分析していますので、県は問題がないと確認していると判断します。

Q 搬入が終了している山倉処分場は池になり、大角処分場は800台分が余剰に入り山になっている。生活環境が脅かされている。県の届け出のみの条例には限界がある。市独自の禁止条例を制定すべきでは。

A 令和元年4月1日施行の県条例は、厳しい届出要件が功を奏していることから、今後、全て県条例にゆだねる方針とし、今まで以上に県との連携を深め、厳正に対応します。

質問事項

- ◆複合公共施設
- ◆橘ふれあい公園
- ◆佐原認定こども園

Q 36ホールのパークゴルフ場が採算性のために必要か、全市民にとって本当に必要か、見直すべきと思うが、市の考えは。

A 平成24年度の計画策定時以来、市民説明会、関係団体ヒアリング、民間活力導入可能性調査の民間企業ヒアリングなどの結果から、結論を得ました。



建設整備が進む橘ふれあい公園周辺

質問事項

- ◆再生土処分場問題
- ◆市内公共交通の整備
- ◆台風15号、19号等に対する対策の検証

Q 災害時には、自治会や農家組合の役割が重要である。防災計画に明確に位置付けるべきでは。

A 災害対応の検証作業で、連携について検討します。



橘ふれあい公園体験学習施設「テラス・サンサン」の多目的室